

令和3年度が終わりを迎えようとしております。今年度は出来る限り南ヶ丘幼稚園や月の浦幼稚園にも足を運び、南ヶ丘第二幼稚園も含め三つの幼稚園を見渡せるよう努めました。特にコロナ禍に入り、三園での交流が出来ず、それぞれの園で出来る事を出来る時に取り組まなければならず、少しでも子ども達や保護者の皆様の様子を見たいという一心でした。そのような中、今までとは違った取り組みに挑戦したり一層深まった内容もあれば、職員一同励んではいるものの保護者の皆様のご満足には至らなかった事もあり心苦しく思いながらも、安全と日常生活の確保を優先しながら学園の理念である『一つ一つ出来るようになること』を追求してきました。

話が少々逸れますが、『先生!!』と呼ばれる職種は様々ある中、わたくしの人生において3名の先生から受けた叱咤激励は今でも色褪せることはありません。愛情深く、誰も見捨てず、妥協もしない先生方です。一人一人の人物像を的確に捉え、時に優しく時に厳しく指導して頂きました。他にも沢山の先生方に恵まれましたし、最強の先生は『子ども達』かもしれません。幼児期の子ども達の無意識の人間観察能力には大変鍛えられました😊

さて、筑水学園の職員一同は、ちくすいっ子達にとって未来にも色褪せない先生であれただろうかと。。。今、思いを馳せています。至らぬ点多々あったかと思いますが、いつも変わらぬ温かい眼差し、折々の励ましや労いのお言葉、厚いご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

理 事 長 梅 崎 佐 和  
南ヶ丘第二幼稚園園長



今年の干支は寅🐅。実はわたくし年女です。(ピッタリ)と思っている方も(笑)  
私にとって節目の一年が始まりました。やりたい事行きたい所等沢山思い描いていましたが、コロナ禍で思い通りにはならず、今は夢の世界が膨らむばかりです。楽しみは先延ばしと思いじっと我慢の今日この頃です。我慢は私だけでなく皆さんも同じですよ。時が経てばあの頃は大変だったね…と言える事と希望をもって、「今」を乗り越えていきましょう。子ども達もコロナ禍を経験し、忍耐力や対応力がこれからの成長の大きな力になると信じています。

その中で、5歳児の教室から感情豊かな歌声が聴こえてきました。「手のひらを太陽に」皆さんもご存じのアンパンマンでお馴染みのやなせたかさんの作詞です。コロナ禍の今…心に響く応援歌のようですよ。💛

右に続く。。。

♪～僕らはみんな生きている 生きているから歌うんだ…

手のひらを太陽にすかしてみれば まっかに流れる ぼくの血潮…～♪

この歌のテーマは生きるという事。生きていれば、笑ったり、歌ったりできる。うれしい時はもっと元気に、辛い時こそ歌で慰められます。子ども達の歌を聴きながら、胸が熱くなった私でした。皆さんもお子様と一緒に口ずさんでみてはいかがですか？きっと元気を貰えるはずですよ!(^)!

そして、卒園する子ども達への応援歌として送りたいと思います。



生きる力に！！ がんばれちくすいっこ🐯

南ヶ丘幼稚園園長 今本 香津代

我が家の庭には初孫が生まれた時に植えた沈丁花の花が咲き、とても優しい香りで癒してくれています。またその横では、木蓮がたくさん蕾を付け、温くなった気候の中で少しずつ膨らみ、深紅の色の花びらが顔を覗かせています。春ですね～😊

コロナ感染症と戦いながら「今、できることを！」を目標に走り抜けて来たこの1年。3学期になると、卒園式をやりたい！という気持ちを優先し、職員皆で給食の時間の過ごし方を考え直し、濃厚接触者を出さない様に努力してきました。終園式、卒園式を迎えられるのは、子ども達はもちろん保護者の方々のご理解とご協力が何よりの成功への大きな力となりました。特に、2,3,4歳児の保護者の方々には、参観が無くなり、成長の姿を目の当たりにすることが出来ず、寂しい思いをさせてしまったことと思います。静かに園の決定を受け止め、応援して下さったことに心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。園児、保護者、そして職員が思いやりの気持ちを育てる事ができた温かい1年となりました。私も今の非常事態の中で、前を向いて進む為には、何を優先させるべきなのか！！を学べた様に思います。制限の中で過ごしてきた子ども達の笑顔は輝き、いつも私の心の中に残っています。

明日は、ちくすいこの旅立ちの日です。  
涙雨になりそうですが、笑顔で送り出したいと思います。  
卒園児の皆さん！またいつの日かお会いしましょう❤️



月の浦幼稚園園長 早瀬 輝充子